

「地域文化振興プロジェクト 活動報告」

地域文化振興プロジェクトとして教育委員会に配属されました、長屋です。昨年9月から放課後子ども教室のお手伝いをしています。主に、支援人員の不足している両併小学校を中心に活動中です。

子ども教室で人気のプログラムとして、ゲストティーチャーに浅尾香織先生をお迎えする「英語で遊ぼう！」があります。そのプログラム用に英単語のカードを作りました。カードを使って、子どもたちに英語で遊ぶ楽しさを感じてもらっています。子ども教室のプログラムを通じて、子どもたちがさまざまな経験をし、いろいろな地域の人と関わっていくお手伝いをこれからも続けていきます。(長屋)



「つつけん演劇教室のご報告」

次世代定住課・みなみあそむら移住定住支援センターで移住コンシェルジュを務めております土屋です！

昨年秋から、村内の空き家・空き地の調査で日々村内を走り回っておりますが、区長さんをはじめ、多くの方々にご協力をいただいておりますこと、心より感謝いたします。調査はまだまだ道半ば。南阿蘇村により多くの村民を増やすべく、これからも頑張ってお手伝いしてまいりますので、今後ともご協力のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます！



現在、地域おこし協力隊員は地域と関わる機会として、放課後子ども教室の講師として小学校を訪問しています。

私は南阿蘇村に来るまでの24年間、俳優としておりました。その経験から、プロの俳優も実践しているワークショップを子どもたちに体験してもらおうと、2月22日、久木野小学校の2年生21人を対象に「つつけん演劇教室」をさせていただきました。ちなみに「つつけん」とは、小学5年生の時から呼ばれ続けている自分のニックネームです。

めっちゃくちゃ元気な男の子たちにもみくちゃんにされながらも、みんなで元気いっぱいにはねたり大声を出したり、汗だくな1時間を楽しませていただきました。

想像力、瞬発力、行動力、協力、共生力、共感、実感、責任感、喜怒哀楽、そして感動…ほかにもいっぱい！それら全てが合わさり「創造力」となって具現化されていくのが演劇です。演劇には、とてもとても大きな力があります。時に人生をも左右する力です。南阿蘇村でも、子どもたちが演劇に興味を持ってくれるような取り組みを何かしらしていけたらと思っています。基本は「プレイ＝遊び」です。また機会がありましたら、一緒に楽しみながら演劇を体験し学んでみませんか？(土屋)



谷人たちの美術館 2019年度参加者募集

村内在住の物づくりをされている作家さんやギャラリーオーナーの方、手作りの技をお持ちの方、谷人たちの美術館に参加して村の魅力を私たちと一緒に発信していきましょう。

南阿蘇村の農産物、特産物を作られている村民の方、谷人たちの各参加会場で展示販売し、村自慢、腕自慢をしてみませんか。(参加費無料)

詳しくはお問い合わせください。

■展示期間 10月1日(火)～10月14日(月)

■参加費 【谷人たちの美術館】 5,000円

※新規入会者は別途6,000円が必要です。(入会金3,000円・ホームページ作成費3,000円)

【村自慢・腕自慢】 無料

■締め切り 4月21日(日)



〈問い合わせ〉谷人たちの美術館実行委員会 TEL080 (6409) 7003